

第10次江別市交通安全計画実績

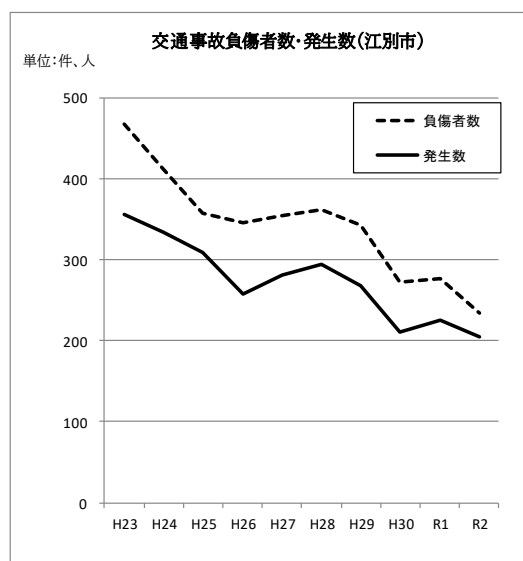
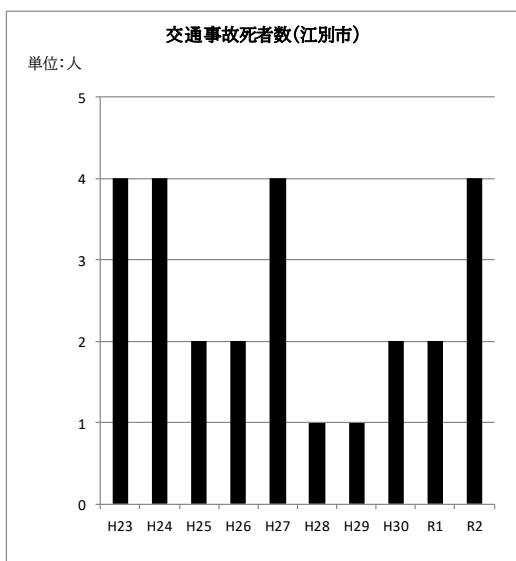
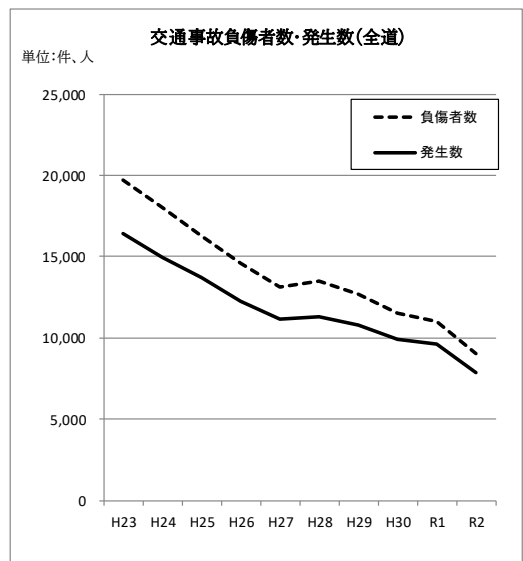
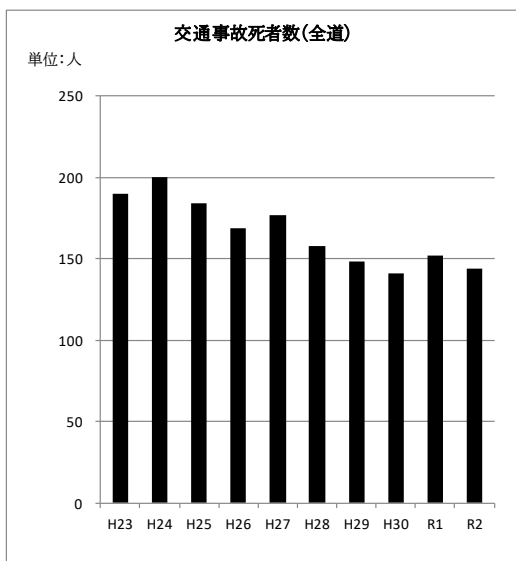
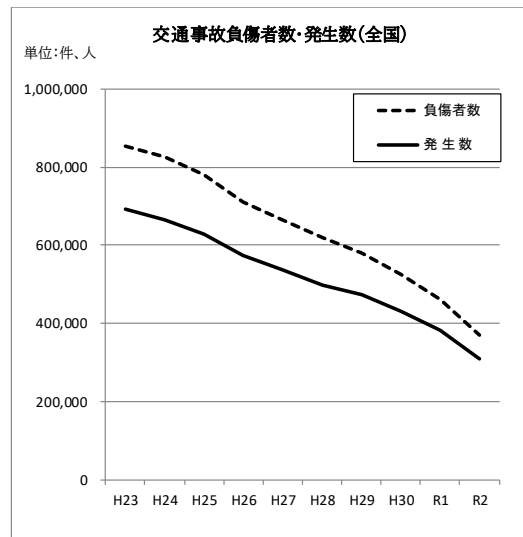
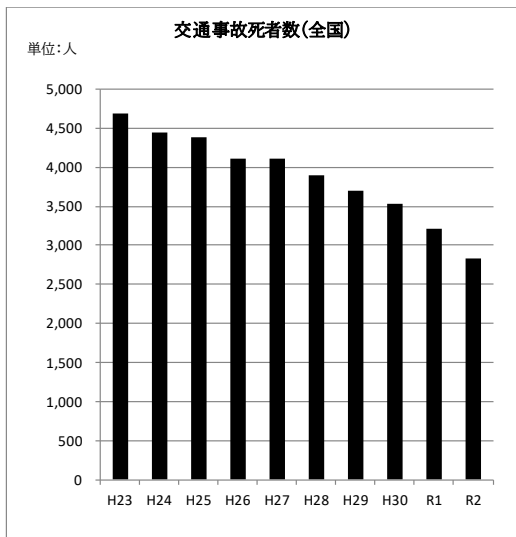
(平成28年度～令和2年度)

第10次江別市交通安全計画実績 (平成28年度～令和2年度)

1 交通事故死傷者数等の推移（第9次分も含む）

(単位:人、件)

交通事故	全 国			全 道			江 別 市		
	死者数	負傷者数	発生数	死者数	負傷者数	発生数	死者数	負傷者数	発生数
平成23年	4,691	854,613	692,084	190	19,705	16,395	4	467	355
平成24年	4,438	825,392	665,157	200	18,046	14,973	4	411	333
平成25年	4,388	781,492	629,033	184	16,247	13,722	2	357	309
平成26年	4,113	711,374	573,842	169	14,571	12,274	2	345	258
平成27年	4,117	666,023	536,899	177	13,117	11,123	4	354	281
平成28年	3,904	618,853	499,201	158	13,489	11,329	1	361	294
平成29年	3,694	580,850	472,165	148	12,673	10,815	1	343	267
平成30年	3,532	525,846	430,601	141	11,494	9,931	2	272	211
令和元年	3,215	461,775	381,237	152	11,046	9,595	2	277	225
令和2年	2,839	368,601	309,000	144	9,043	7,898	4	234	205



2 道路別交通事故発生状況

(単位:件、人、%)

		国道				道道	市道	その他	合計
		12号	275号	337号	計				
平成28年	発生数	56	6	6	68	60	139	27	294
	死者数	1			1				1
	負傷者数	68	7	8	83	74	175	29	361
平成29年	発生数	54	8	6	68	56	127	16	267
	死者数				0	1			1
	負傷者数	75	11	9	95	75	155	18	343
平成30年	発生数	34	7	1	42	59	98	12	211
	死者数				0	2			2
	負傷者数	47	8	1	56	74	129	13	272
令和元年	発生数	49	7	3	59	56	97	13	225
	死者数	1			1		1		2
	負傷者数	60	12	3	75	67	121	14	277
令和2年	件数	47	11	3	61	42	95	7	205
	死者数				0	3	1		4
	傷者数	55	12	3	70	49	108	7	234
合計	発生数	240	39	19	298	273	556	75	1,202
	構成率	20.0	3.2	1.6	24.8	22.7	46.3	6.2	100.0
	死者数	2	0	0	2	6	2	0	10
	構成率	20.0	0.0	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0	100.0
	負傷者数	305	50	24	379	339	688	81	1,487
	構成率	20.5	3.4	1.6	25.5	22.8	46.3	5.4	100.0

3 道路別形状別発生状況

(単位:件、人、%)

		市街地					非市街地					合計
		交差点	単路カーブ	単路その他	その他	小計	交差点	単路カーブ	単路その他	その他	小計	
平成28年	発生数	184	5	59	20	268	12	4	9	1	26	294
	死者数			1		1					0	1
	負傷者数	230	7	70	22	329	16	4	11	1	32	361
平成29年	発生数	158	2	60	14	234	16	3	13	1	33	267
	死者数					0			1		1	1
	負傷者数	203	3	76	16	298	23	5	16	1	45	343
平成30年	発生数	117	3	49	12	181	13	3	13	1	30	211
	死者数	1				1			1		1	2
	負傷者数	155	5	60	13	233	17	4	17	1	39	272
令和元年	発生数	114	4	49	11	178	22	3	22		47	225
	死者数	1				1		1			1	2
	負傷者数	144	4	56	11	215	28	3	31		62	277
令和2年	件数	127	7	39	7	180	16		9		25	205
	死者数					0	1		3		4	4
	傷者数	146	9	47	7	209	17		8		25	234
合計	発生数	700	21	256	64	1,041	79	13	66	3	161	1,202
	構成率	58.2	1.7	21.3	5.3	86.6	6.6	1.1	5.5	0.2	13.4	100.0
	死者数	2	0	1	0	3	1	1	5	0	7	10
	構成率	20.0	0.0	10.0	0.0	30.0	10.0	10.0	50.0	0.0	70.0	100.0
	負傷者数	878	28	309	69	1,284	101	16	83	3	203	1,487
	構成率	59.0	1.9	20.8	4.6	86.3	6.8	1.1	5.6	0.2	13.7	100.0

※「交差点」は交差点付近も含む

※「交差点」は交差点付近も含む

4 道路交通環境の整備

(1) 通学路等における交通安全の確保

江別第二小学校通学路	○江別第二小学校の通学路である元野幌182号道路、元野幌274号道路について、歩道の整備を行い安全で安心な歩行空間を確保した。
大麻小学校通学路	○大麻小学校の通学路である兵村4番通りについて、歩道の整備を行い安全で安心な歩行空間を確保した。

(2) 高齢者、子ども、障がい者の安全に資する歩行空間等の整備

野幌駅周辺部 (顔づくり事業)	○自転車歩行者道として東西グリーンモールと駅南グリーンモールを整備したほか、8丁目通や1号線、コミュニティ道路及び野幌駅南通では、幅広の歩道を整備した。 ○野幌駅南口駅前広場や8丁目通、1号線、コミュニティ道路の歩道段差の解消や、電線類を地中化し、視覚障がい者誘導用ブロックや排水性舗装を整備した。
ゾーン30における交通安全対策	北海道公安委員会が指定する大麻泉町のゾーン30区域内において、警察と連携して路面標示や標識を設置し、歩行者に配慮した交通安全対策を実施。(令和元年度)

(3) 信号機、横断歩道などの設置要望

野幌駅周辺部 (顔づくり事業)	○駅周辺の道路網整備にあわせて、公安委員会へ信号機等の設置要望を行い、白樺通と若葉通の交差点や、野幌駅南通と1号線の交差点、白樺通と野幌駅南通の交差点に信号機が設置された。
--------------------	--

(4) 歩行空間のバリアフリー化

野幌駅周辺部 (顔づくり事業)	○野幌駅南口駅前広場や8丁目通、1号線、コミュニティ道路の歩道段差の解消や、視覚障がい者誘導用ブロックや排水性舗装等の整備を進め、バリアフリー空間の整備を推進した。
--------------------	--

(5) 無電柱化の促進

野幌駅周辺部 (顔づくり事業)	○野幌駅南口駅前広場や8丁目通、1号線、コミュニティ道路では、電線類の地中化を実施し、無電柱化の促進を図った。
--------------------	---

(6) 自転車利用環境の整備

野幌駅周辺部 (顔づくり事業)	○野幌駅南口駅前広場の南西に隣接した自転車駐輪場を整備したことにより、 放置自転車を減らし、歩道の快適な通行空間を確保した。
--------------------	---

(7) 信号機の新設等

(単位：機)

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
信号機 設置数	新 設	2	0	2	0	0
	移 設	0	0	0	0	0

(8) 信号機等の設置要望

(単位：件)

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
設置要望 件数	信 号 機	127	134	132	135	138
	横断歩道	50	54	56	61	63
	一時停止	60	66	64	65	66
	そ の 他	19	19	22	21	22
	計	256	273	274	282	289

5 交通安全教室の開催

(単位:回、人)

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
幼 児	開催回数	150	157	160	140	76
	参加者数	14,137	15,036	14,708	12,991	7,455
小学校 児 童	開催回数	60	69	59	※116	※41
	参加者数	7,176	7,390	7,518	7,599	2,897
中学校	開催回数	8	8	8	8	3
	参加者数	3,138	3,051	2,911	2,943	768
高齢者	開催回数	33	33	26	24	0
	参加者数	1,285	1,413	1,042	945	0
その他	開催回数	11	12	9	12	1
	参加者数	408	1,292	1,153	1,290	41
計	開催回数	262	279	262	300	121
	参加者数	26,144	28,182	27,332	25,768	11,161

※令和元年度より、小学校での交通安全教室を1校時=1教室とする算出方法に変更

6 交通安全推進委員会の開催

会議開催回数	年間6回
主な協議事項	<ul style="list-style-type: none"> ○前年度事業報告・当年度事業計画 ○春・夏・秋・冬の交通安全運動実施計画 ○交通安全市民総決起集会の実施

7 全国交通安全運動等への参加

各期共通の活動	<ul style="list-style-type: none"> ○広報等による啓発・ポスター掲示 ○児童登校時の街頭指導・啓発パトロール ○シートベルト着用調査 ○パトライト点灯等による街頭啓発
春の全国交通安全運動	<ul style="list-style-type: none"> ○大型店での街頭啓発
夏の交通安全運動	<ul style="list-style-type: none"> ○大型店での街頭啓発 ○安全安心講座の開催
秋の全国交通安全運動	<ul style="list-style-type: none"> ○大型店での街頭啓発 ○市民総決起集会及び旗の波啓発
冬の交通安全運動	<ul style="list-style-type: none"> ○飲酒運転根絶キャンペーン
新入学児童を交通事故から守る運動	<ul style="list-style-type: none"> ○新小学一年生に交通安全啓発品を配付 ○児童登校時の街頭指導・啓発パトロール

8 交通安全活動支援

自治会や学校に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会等に交通安全旗等の交通安全運動用具を斡旋・貸出 ○市内の小中学校に交通安全旗を寄贈
自主研修会等への支援	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会の自主的交通安全研修会等に教材を貸与するほか、啓発パンフレット等を配布

9 救助・救急活動の充実

救助・救急体制の整備等	<p>○心肺蘇生法等の応急手当の普及啓発活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民に対して、自動体外式除細動器（A E D）の取扱いを含む心肺蘇生法等に関する講習を実施し、応急手当の普及啓発活動を推進した。 ・市内大学及び事業所を対象に応急手当普及員の養成を積極的に行った。 ・学校において心肺蘇生法等の講習会を実施したほか、10歳以上の小学生に対して「救命入門コース」を導入し、応急手当と救急車の適正利用についての意識付けを行った。 <p>○救急救命士の養成・配置等の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急現場及び搬送途上における応急処置の一層の充実を図るため、救急救命士の処置拡大により可能となった気管挿管、薬剤投与及び心肺停止前の重症者に対する輸液処置等の実施可能な救急救命士を養成した。 ・救急及び救助活動に必要な高度な知識及び技術を習得させるため、各種研修派遣に努めた。 <p>○救助・救急施設等の整備の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高規格救急自動車2台及び高度救命用資機材等の更新を行うとともに、救助用資機材の増強を図った。 ・高規格救急自動車4台すべてに「現場急行支援システム(F A S T)」を装備し、救急医療機関への搬送の迅速化を図った。
-------------	---

10 交通事故被害者支援の充実

（単位：人）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
交通事故等災害遺児手当の支給人数	5	5	4	4	4
交通事故相談受理件数	10	9	10	12	6

11 踏切道における交通の安全

踏切道の立体交差化、構造改良等の促進	<p>○J R 函館本線の野幌駅付近の連続立体交差事業により、平成23年10月23日に鉄道が高架化され、2ヶ所の踏切が減少し、道路交通、鉄道輸送の安全性が向上。</p>
--------------------	--

12 冬季の交通の安全

交差点の 見通しの確保	幹線道路排雪の作業方法を見直し、交差点内の雪山を撤去し、見通しの確保を強化した。(令和2年度)
----------------	---